

# 東京湾海況情報 26-3

東京湾水質調査結果（平成26年6月）  
（平成26年6月16日発行）

千葉県水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所  
〒293-0042 富津市小久保3091  
TEL 0439-65-3071  
E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp  
千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 6/2：内湾（ふさなみ）、内房海域（ふさみ丸）  
関東・東海海況速報(6/2)、東京湾口海況図(6/2)  
モニタリングポスト(6/2：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁)  
東京都環境局(6/3-4)、神奈川県水産技術センター(6/5)

## 【 水温・塩分の状況 】

湾内の表層水温(図1)は20～25℃台で、内湾北東部海域では平年より約2～3℃高くなっています。塩分は25～34PSU台前半で、東京灯標付近及び北東部海域では5月下旬の降雨(東京:100.5mm、千葉:82.5mm)によってやや低くなっています。

縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)では、内湾中央部(st.6～J5)の水深15m付近でやや弱い水温、塩分の成層状態がみられています。

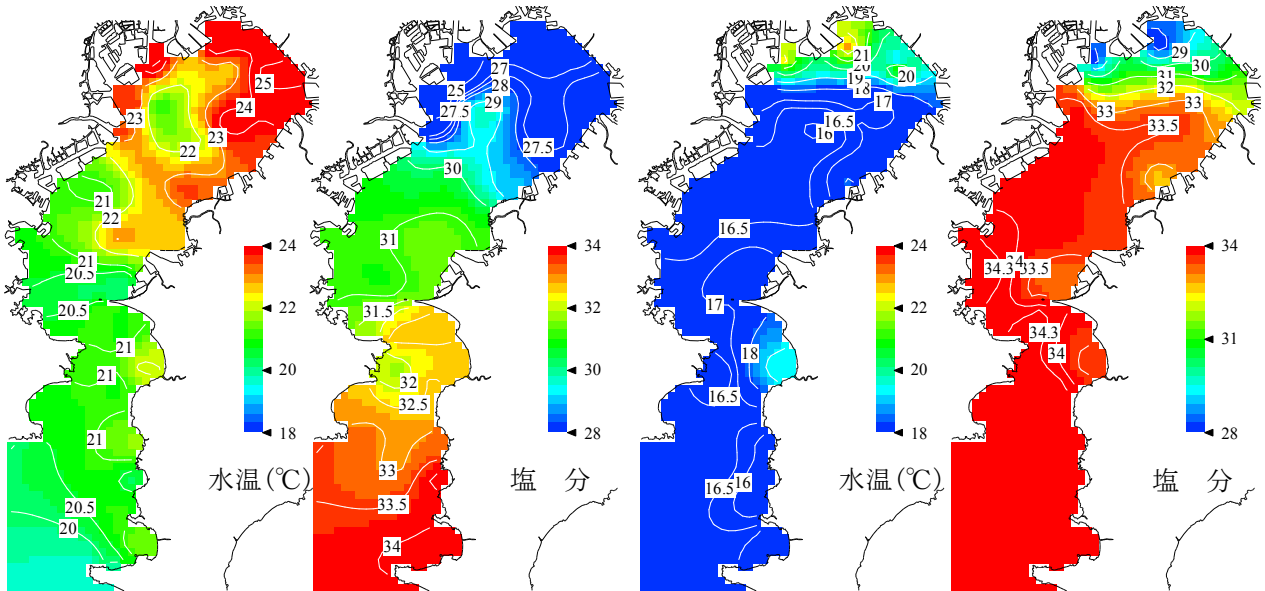


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

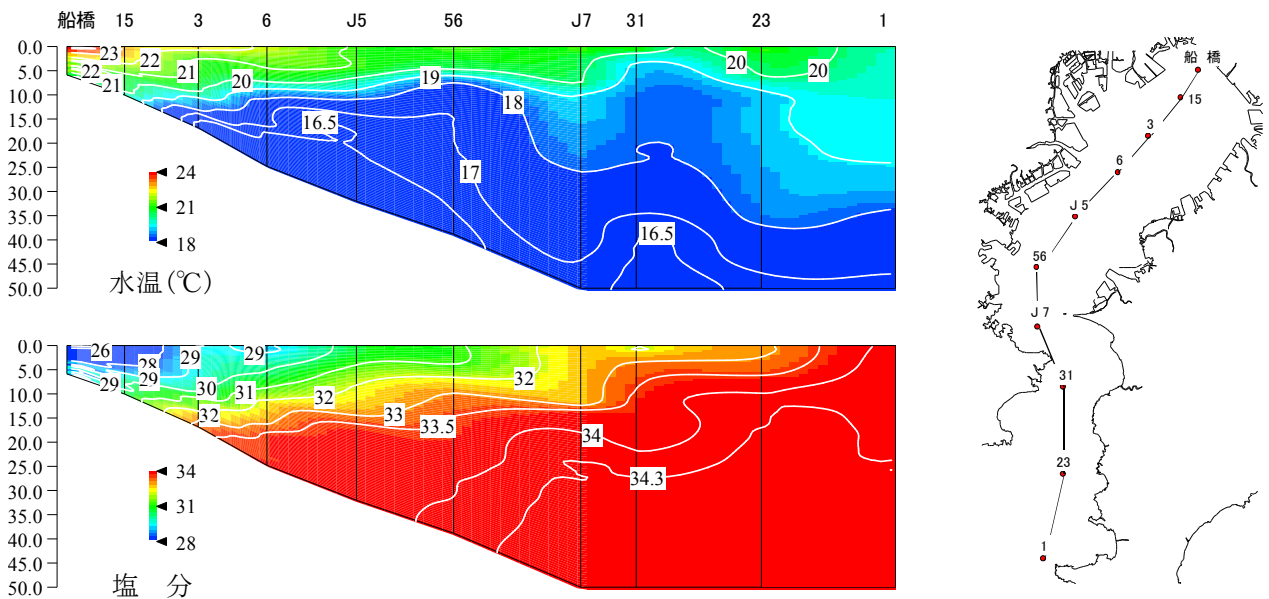


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布（右：調査ライン(上：内湾、下：内房海域)）

## 【 赤潮の状況 】

赤潮は東京灯標付近、船橋から千葉にかけての沿岸及び本牧付近で発生し、検見川沖ではpH 8.7、透明度 1m台(図4)で、水色も茶褐色を呈する程の状態です。

優占種はケイ藻のスケルトネマ(*Skeletonema* sp.)やキートケロス(*Cheiloceros* sp.)でしたが、検見川沖では魚介類に被害を及ぼすラフィド藻のヘテロシグマアカシオ(*Heterosigma akashiwo*)が優占していました。保田から富浦にかけての海域ではスケルトネマが多くみられていました。

※ 千葉県赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ～褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 $\mu$ g/L以上

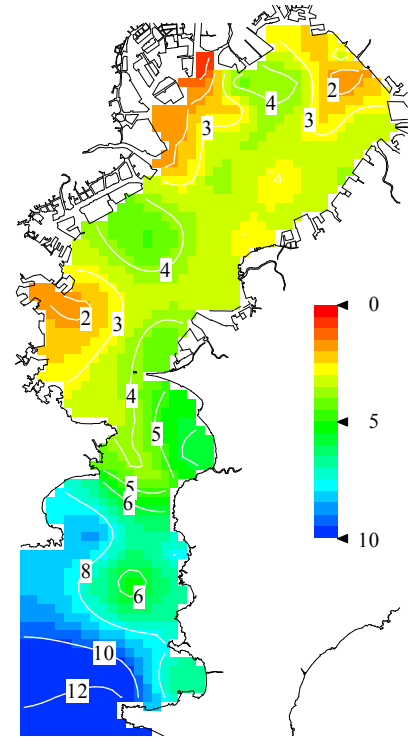


図4 透明度の分布(m)

## 【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は内湾中央から北部海域で低下し、0.5ml/L以下の強い貧酸素水塊が千葉県側で広く分布しています。

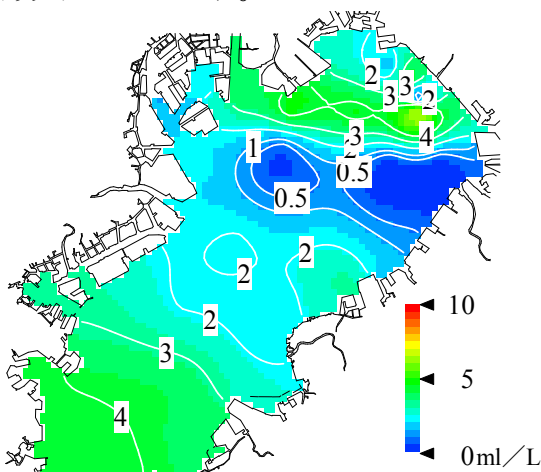


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

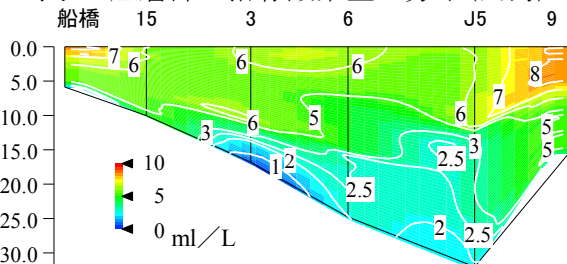


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

## 【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩(図7)は内湾北部海域で溶存無機態窒素(DIN)、リン酸態リン(PO<sub>4</sub>-P)とも平年より多くなっていますが、その他の海域は平年並みからやや少なくなっています。

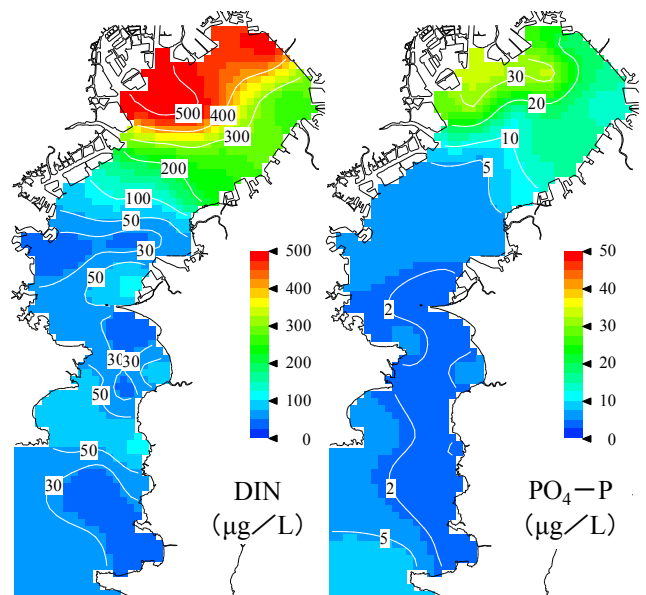


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

## 【黒潮の状況】

黒潮はB型基調で推移し、その流軸は2日現在八丈島と三宅島の間を通過した後、房総半島南東岸をやや接岸しながら北東方向に流れています(図8)。

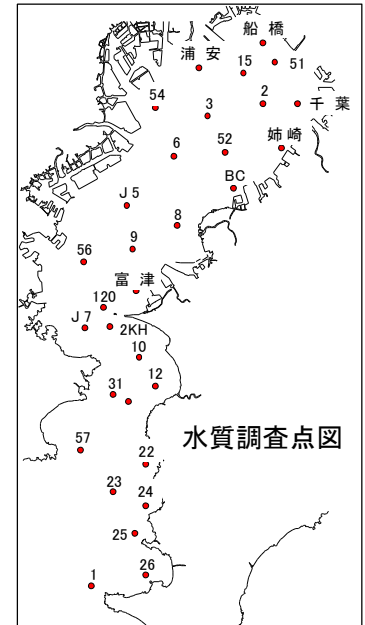
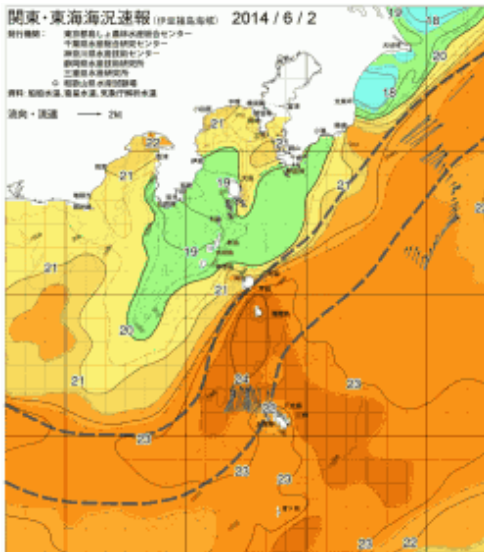


図8 黒潮の動き (平成26年 6月 2日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)  
( ): 最近10年間の平均値 (2004~2013年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
内湾	船橋	24.4 (21.9)	25.69 (27.59)	2.2 (1.4)	8.5 (8.7)	1.4 (2.8)	64 (35)	480 (176)	18 (13)
	st.15	22.5 (21.9)	26.78 (27.35)	4.0 (1.4)	8.4 (8.8)	4.2 (1.8)	179 (60)	425 (210)	32 (11)
	st.3	22.4 (21.3)	29.05 (27.06)	3.8 (1.6)	8.5 (8.7)	0.2 (1.5)	353 (45)	478 (206)	12 (20)
	st.6	21.9 (21.1)	28.86 (28.67)	3.7 (2.1)	8.4 (8.7)	2.0 (2.5)	106 (38)	247 (124)	6 (7)
	st.9	23.0 (20.6)	31.39 (30.21)	3.5 (2.7)	8.5 (8.5)	3.4 (3.6)	15 (22)	19 (89)	4 (4)
	st.BC (盤洲Cブイ)	23.1 (21.3)	28.64 (29.77)	3.3 (2.4)	8.5 (8.6)	2.9 (3.3)	47 (19)	223 (108)	10 (7)
	st.8 (盤洲A南)	22.5 (20.9)	30.91 (30.78)	3.3 (2.6)	8.5 (8.5)	1.9 (3.2)	31 (17)	43 (78)	3 (4)
	富津	20.3 (20.0)	31.25 (30.75)	4.6 (5.2)	8.4 (8.4)	3.4 (3.6)	27 (31)	88 (126)	1 (3)
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	20.9 (20.0)	32.06 (31.38)	4.0 (4.1)	8.4 (8.4)		13 (17)	32 (85)	1 (4)
	st.31	21.2 (19.8)	31.67 (31.68)	4.0 (4.7)	8.4 (8.4)		12 (23)	51 (81)	1 (5)
	st.23	20.9 (20.2)	32.96 (32.84)	5.5 (7.3)	8.3 (8.4)		17 (23)	20 (53)	1 (3)
	st.1	19.6 (20.4)	34.11 (33.55)	12.0 (12.1)	8.2 (8.2)		26 (11)	42 (17)	6 (2)
	st.10 (下洲沖)	20.8 (19.8)	32.53 (31.42)	5.5 (4.4)	8.4 (8.4)		8 (14)	14 (67)	ND (3)
	st.12 (湊沖)	22.1 (20.1)	32.46 (31.44)	6.0 (4.8)	8.3 (8.4)		29 (15)	58 (67)	3 (2)
	st.22 (保田沖)	21.6 (20.1)	33.23 (33.24)	8.0 (9.0)	8.3 (8.3)		57 (12)	92 (24)	2 (1)
	st.24 (富山沖)	20.2 (20.4)	34.19 (33.38)	7.0 (9.4)	8.2 (8.3)		38 (10)	39 (14)	2 (1)
st.26 (館山湾内)	21.2 (20.4)	34.19 (33.57)	7.0 (10.5)	8.2 (8.3)		3 (9)	4 (13)	1 (1)	

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。